

○令和元年度教育事業

「教員免許状更新講習」令和元年7月29日（月）～31日（水）

◆目的

現行の学習指導要領の趣旨を踏まえ、学校教員の自然体験や集団宿泊活動等に必要な知識・技能の向上を図る。

◆参加実績（募集40名）参加者数：25名

平成31年度 国立大雪青少年交流の家教育事業
教員免許状更新講習
 期日：平成31年7月29日（月）～31日（水）
 募集：40名（先着順とさせていただきます。）
 対象：平成31、32年度末が修了期限の教員
※小学校の募集を多く取りますが、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員等の受講も可能です。
 ※募集期間は4月1日～7月5日です。
 会場：国立大雪青少年交流の家
 内容：「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」（選択18時間）
●本講習は、各教科の指導や教材研究における体験的学習活動についての知識や技能を身につけることを目的としており、参加いただく方々の「体験」を中心とした講習としていきます。
 ●2日3日（当施設敷地）の講習で18時間分の単位がまとめて取得できます。
 参加費用：22,000円（予定）
（内訳）受講料 18,000円
 その他 4,000円（シーツ代、保険代、食事代を含む）
※持ち物につきましては、受講者確定後、二次案内文書にてお通知させていただきます。

受講者の声

データに基づいた体験活動の重要性について学ぶことができ、日々の実践とつながりを感じることができました。

自分たち自身が実際に体験して学ぶことで体験活動の大切さを改めて感じることができました。

専門的な方面やプログラム、体験活動など、継続していただく以上に本当に充実した内容でした。

異なる年代の先生方と交流することができ、考え方の幅が広がったように感じます。

国立大雪青少年交流の家

	人数	参加者地域内訳
小学校	10	上川6、留萌1、網走1、胆振1
中学校	8	上川4、石狩1、根室1、網走1
高等学校	7	石狩4、上川2、留萌1、道外1
合計	25	25

参加者の年齢内訳			
30代	男性 7名	女性 2名	計 9名
40代	男性 9名	女性 2名	計 11名
50代	男性 3名	女性 0名	計 3名
60代	男性 1名	女性 1名	計 2名
参加者の男女比：男性20名 女性 5名			

◆プログラム

① 講義【今日的な教育課題】

講師：北海道教育庁 教育環境支援課 主幹 行徳 義朗 氏
 ・子供たちの今日的な課題や、新学習指導要領の要点について理解を深めた。



② 講義【学校教育における体験活動の意義と活動の実際】

講師：学校法人リズム学園 学園長 井内 聖 氏
 ・幼児教育における具体的な取組から、学校等の教育現場で行われている様々な体験活動の意義や実態について理解を深めた。

③ 実習【災害時に役立つ野外炊事】

講師：国立大雪青少年交流の家 企画指導専門職 安達 義徳 氏
 " 佐藤 麻友美 氏
 ・災害発生時における食事の準備をとおして、野外炊事に関する基礎的な知識・技能を獲得するとともに、防災意識の向上につながる体験活動についての学びを深めた。



④ 講義・演習【自然体験活動と安全管理】

講師：國學院大学 准教授 青木 康太郎 氏
 ・野外での活動をとおし、子供たちが主体的に取り組む自然体験活動の実際と、安全管理の技術について理解を深め、自然体験活動の指導方法を習得した。



- ⑤ 講義【青少年教育施設における体験活動の実際】
 講師：国立日高青少年自然の家 所長 中田 和彦 氏
 ・青少年教育施設が企画・実施する体験活動の意義や効果、様々な体験プログラムについて理解を深めた。
- ⑥ 講義・演習【体験活動のアクティビティの指導技術】
 講師：東海大学 教授 ハミルトン・マーク・C 氏
 ・コミュニケーション能力を高める野外アクティビティを体験し、人間関係づくりにおける体験活動の意義や、体験活動を用いた教科指導の手法について、実技をとおして理解を深めた。
- ⑦ 履修認定試験
 ・論文及び選択式問題の履修認定試験を実施した。



◆成果

- 受講者全員が、新学習指導要領と体験活動との関わりについて理解を深め、履修認定試験に合格することができた。
- 受講者が体験活動の重要性を理解し、学校現場において子供たちに体験活動を通じた教育を推進していく意欲を高めることができた。

◆参加者の声

- 大学やインターネットでの免許講習では、人と関わることができないけれど、今回は異年齢・異校種、様々な管内の方々と活動はでき、なかなか学校で仕事をしていると出会えない方々と知り合えて良かったです。さらに、内容も充実していて満足です。
- 色々な先生方と交流を深めることができたのが良かったと思う。先生方自身が様々なアクティビティを行い、その魅力を実感することが大切だと改めて感じた。
- 普段何気なく取り入れている体験学習について深く考える3日間になりました。日々の仕事の中ではなかなか考える時間がないので良い機会になりました。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- 受講者が定員に満たなかった。現在、教員免許状更新講習は様々な機関で実施されており、受講者からは、「大雪で実施していることを知らない先生方も多い。」との声も寄せられた。今年度、本講習に申込をした理由として、「過去の受講者から勧められた」という声が多く、今年度の受講者からも、「知人に勧めたい。」との声も多く寄せられた。口コミでの周知はもちろん、受講対象者の先生方に講習実施について、情報が届くよう広報する。
- 「事前課題意識調査」に受講者が記入した内容を講師に伝え、受講者のニーズを共有し、記載された内容を可能な限り講義内容に反映できるよう努めた。事後のアンケートには、「事前課題意識調査に書いた内容について、色々教えてもらうことができた」等の記載が多くみられ、質の高い、受講者のニーズに即した講習を実施することができた。

◆事業運営費

・講師謝金・旅費	159,780円
・郵送費	120円
・消耗品費	1,518円
<u>合計</u>	<u>161,418円</u>